

6月の果実の見通し

令和3年5月31日現在
山形県東京事務所

品目	区分 主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
おうとう	山形 など	1049	85%	1289	2125	高い	1888	892	85.0%	本年度の開花は例年より早かったが、4月中旬の低温による障害は拒めない。特に山形産「佐藤錦」や「紅秀峰」は現時点での調査では前年に比べ2～3割減が見込まれる。ハウス物は「母の日」を境に、販売の動きは落ち着いている。山梨産の露地「紅さやか」は5月末頃から、山形産の「佐藤錦」は早場園地で6月5～10日頃からスタート予定。ピークは20日前後の予定だが、大きな山はないであろう。「紅秀峰」は6月下旬より初荷を迎え、数量は多くないと予想される。
もも類	山梨 など	1039	105%	1087	860	安い	784	0	0.0%	ハウス物は前進傾向のため、終了は例年より早まる見込み。春先からの天候で前進傾向のまま梅雨時期に入ることから、出荷体制に変化が生じる可能性がある。6月の露地物は例年よりも早い出荷展開で、山梨県の早場産地では6月下旬に「日川白鳳」が終了する予定。6月は桜桃、西瓜等、露地物の品目が出揃うが、輸入柑橘・メロン等の入荷不安定なことから、広がってくるであろう国産品の売場スペースで桃の売場を確保していくためにも価格形成が重要である。
ぶどう類	島根 山梨 など	546	100%	577	1815	平年並み	1629	27	4.9%	ハウス物「シャインマスカット」は各産地前年比で作付増加傾向。その他「デラウェア」・「ピオーネ」・「種なし巨峰」は作付前年並みから微減。全体的に6月に入ると微増となり、中旬以降は品種によって増加してくるが、作付の割合が高い「シャインマスカット」が大幅に増加する。果専門店・百貨店・輸出等の販売が中心にはなるが、数量増に伴い少しずつ販売範囲が広がっていく。6月は各県での出荷が始まり増加するため、価格も週間で下降に転じる見込み。
メロン類	茨城 千葉 熊本 静岡 など	4191	95%	4695	467	平年並み ～高い	429	134	3.2%	前年も前進出荷の流れであったが、本年もより早い出荷が見込まれる、5月中旬から茨城産「アンデス」「クインシー」中心の販売。「アンデス」は5月下旬がピークを迎え、「クインシー」は6月上旬からピークに入る見込み。茨城産「タカミメロン」の出荷も始まり旬にはピークを迎え、6月いっぱいの販売になる見通し。茨城産は全体的に前年より大玉傾向の出荷。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)